

令和5年10月2日
門真市産業振興課

「門真市ものづくり産業振興計画」策定の背景・趣旨

門真市において製造業は、付加価値額、従業者数において、他産業に比べて突出しており、また、それらの経済全体に対する寄与度（特化係数）も、全国平均に比べて極めて大きく、本市の「稼ぐ力」を有する「基幹産業」です。換言すれば、本市において、製造業の成長が、卸や小売、商業・サービス等他産業へ波及・牽引することによって、市内経済を活性化、域内所得を増加させる経済構造を有していると言えます。

製造業を含めた本市産業振興施策については、現在、門真市第6次総合計画に掲げる「地域産業の強化と発展」「就労支援と雇用促進」に基づき、主に事業者に対する施策を立案、実施しているところです。

他方近年、原材料高騰、人手不足、DX化やカーボンニュートラル対応など課題が次々と表出し、製造業を取り巻く環境は刻々と変化、そのスピードは加速しています。よって、それらを受けた施策の目標や打ち手も迅速な対応を余儀なくされています。一方で、大阪・関西万博や新規分野での事業等ビジネスチャンスも確実に成長に取り込んでいく必要があります。

そこで、製造業が本市の「基幹産業」であることを明確に打ち出し、製造事業者の課題及びニーズに的確に対応した施策を計画的かつ一貫して展開していくため、5年間を計画期間とした「門真市ものづくり産業振興計画」を策定し、それらをより細分化したアクションプランを定め、施策を立案・実行したいと考えます。

計画策定にあたっては、事業者、支援機関、行政、関係機関等をメンバーとした「門真市ものづくり産業振興懇話会」を新たに設置し、課題抽出、計画案等に対する提案、意見等を通じて、企業等の皆さまと連携し進めます。計画策定後においても、同懇話会は、計画の進捗確認や、その他課題や施策等に対する意見や提案を行う諮問機関として継続して協力をお願いしたいと考えております。